

# 産学官によるグローバル人材の 育成のための戦略（案） （概要）

産学連携によるグローバル人材育成推進会議

# 現状と課題

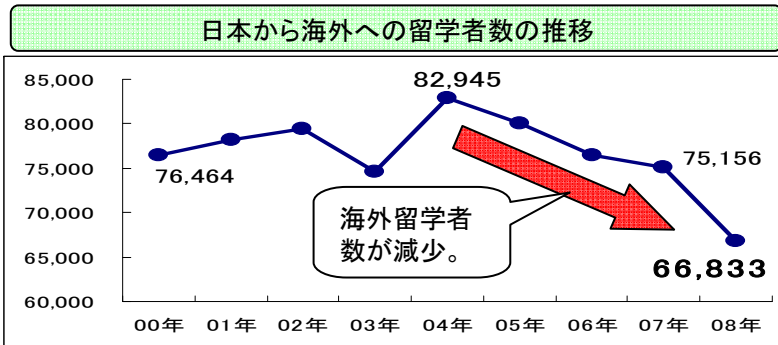
## 現状と課題

政治・経済をはじめ様々な分野でのグローバル化

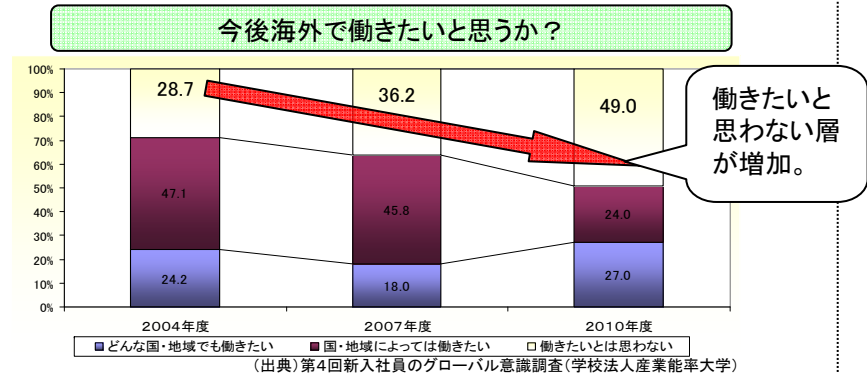
若者のいわゆる「内向き志向」

諸外国の高等教育の国際化  
例) オーストラリア、シンガポール

※若者のいわゆる「内向き志向」



(出典) ユネスコ文化統計年鑑、OECD「Education at a Glance」、IIE「Open Doors」、中国教育部、台湾教育部



## グローバル社会、知識基盤社会の中で逞しく生き抜く人材の育成・支援が重要課題！！

### グローバル人材とは・・・

世界的な競争と共生が進む現代社会において、日本人としてのアイデンティティを持ちながら、広い視野に立って培われる教養と専門性、異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力と協調性、新しい価値を創造する能力、次世代までも視野に入れた社会貢献の意識などを持った人間

### グローバル人材を育成するために・・・

- ◇ 国は、速やかにグローバル人材育成のための戦略の全体像を明らかにした上で、個別施策の位置づけを確認しながらその効果を最大限引き出すような見直しを行うことが必要
- ◇ 大学は、一層グローバルな魅力ある高等教育を展開し、世界に向けて発信するとともに、日本人留学生の派遣や外国人留学生の受入れの環境整備を進めることが必要
- ◇ 教育界と産業界両者の協力の下、グローバル人材の育成と支援に取り組むことが必要

## 基本方針

- グローバル人材を育成するためには、大学自体が世界に開かれた大学となり、日本人学生の海外留学や外国人留学生の受入れのための体制を整備することが必要。
- 産学官を通じ、社会全体で高等教育の国際化とグローバル人材の育成に取り組み、教育環境や就職環境など社会構造そのものをグローバル化することが必要。

### ◇ 大学の教育力を磨きつつ世界展開力を強化する

国内外において魅力ある日本の高等教育を日本人学生及び外国人留学生に提供できるよう、大学の教育力を磨くとともに世界展開するための環境整備を図る。

### ◇ 世界的な学習フィールドで日本人学生を育てる

日本人学生が海外における留学等の海外経験等を通じてその見識を高め、世界で通用する人材として成長するための環境整備を目指す。

### ◇ 日本の高等教育を世界に発信する

日本の高等教育を世界に向けて発信し、優秀な外国人留学生を確保するとともに外国人留学生と日本人学生が互いに切磋琢磨するための国内環境の国際化を目指す。

### ◇ グローバル人材育成に合った社会環境に変革する

産学官が協力し、社会全体でグローバル人材を育成するための環境づくりを行い、社会構造の変革を目指す。

大学、企業及び国は、関係団体等との緊密な連携・協力の下、戦略ビジョンの達成に努める



## 具体的方策（大学の役割）

大学は、自らがグローバル社会に対応した存在となるとともに、教育内容や教育方法を改善し、世界の学生にとって魅力ある高等教育を提供する。また、日本人学生の海外留学を推進するとともに、優秀な外国人留学生を獲得するための環境整備を行う。

### ①国際的な通用性を確保し、魅力ある教育を提供する

魅力ある教育の提供、ミッションの明確化や質保証の取組の国際標準化、効果的な教育方法の活用、教員の指導力強化、教育達成度を測る手法の確立、ファカルティ・ディベロップメントの実施

### ②大学自体がグローバル化するために

グローバル化に対応した体制整備、優秀な外国人教員の確保、9月入学など柔軟な入学時期の設定、外国語コースの設定や外国語による授業の推進、海外の大学との連携教育プログラムの研究・開発、大学の取組成果の可視化 等

### ③日本人学生の海外留学を後押しをする

実用的な外国語教育の実施、日本人学生の留学成果の可視化、交換留学制度の拡充、短期海外体験制度の整備、大学独自の奨学金制度の充実、留学支援のための体制整備、外国人留学生との交流機会の拡充 等

### ④優れた外国人留学生を獲得する

魅力ある教育プログラムの設定、日本語教育プログラムの充実、大学独自の奨学金制度の充実、留学生の受入れ支援のための体制整備、日本人学生との交流機会の拡充 等

### ⑤他国の大学づくりを支援する

日本の高等教育（教育プログラム、教育手法、教員等派遣、日本への留学等）をパッケージとして提供

## 具体的方策（企業の役割）

社会全体で優秀な人材を育成する観点から、企業は、学生の学業への専念を促すとともに、大学のグローバル人材育成に係る取組や学生の留学等を支援する。また、学生採用のグローバル化を進め、日本人学生の派遣及び外国人留学生の受入れの環境づくりに協力する。

### ①企業の採用環境を変革する

採用活動の早期化・長期化の是正、採用スケジュールの弾力化・複線化、留学等の異文化体験に対する企業評価の明確化と積極的採用、企業が必要とする人材像（語学力、専門、キャリア等）の明確化、外国人採用の場合のキャリアパスの明確化

### ②日本人学生の海外留学を支援する

日本人学生に対する留学支援奨学金の充実、現地支援ネットワークの構築、現地法人インターンシップ機会の充実（長中短期）

### ③外国人留学生の日本留学を支援する

外国人留学生のための企業奨学金の充実、外国人留学生への宿舍提供、国内法人インターンシップ機会の充実（長中短期）、現地法人等における日本留学に関する情報提供

### ④頑張る大学を支援する

グローバル人材育成のための寄附講座の充実、正規授業等への講師派遣などにより大学の実践的な教育を支援



## 具体的方策（国の役割）

国は、高等教育外交戦略の展開の必要性を認識した上で、日本人学生の受入れ先を開拓するとともに優秀な外国人留学生を獲得するため、地域・国別、専門分野等を考慮した戦略的な取組を展開する。また、オールジャパンとしての取組を進める観点から、産学官の円滑な連携環境を整備するとともに、大学の先進的な取組を支援してその効果を全国的に還元する。

### ①高等教育外交を展開する

高等教育外交の戦略モデルの確立、外国の大学と日本の大学の連携強化、海外主要大学との教育連携の促進、高等教育のパッケージ提供

### ②産学官連携の環境を整備する

産学官連携プラットフォームの構築、大学のグローバル化の取組の評価・検証、グローバル人材育成のための省庁間連携の推進

### ③グローバル化推進事業を推進する

高等教育におけるグローバル化の拠点づくり、世界展開を図るための仕組みづくり、学生の異文化体験機会の充実、留学生に対する奨学金制度の充実 等

### ④グローバル化推進事業を改善する

事業の効果的・効率的な実施

### ⑤初等中等教育と高等教育の連携を推進する

初等中等教育におけるグローバル化の拠点づくり、異文化体験に係る連携協力の強化、英語教員等養成プログラムの充実、大学入学者選抜試験の改善

## その他

○本戦略ビジョンは、平成23年度事業計画の立案、事業展開や、平成24年度以降の新しい取組にも反映させることが必要

○毎年度、事業についての検証・評価を行い、その結果を公表することが重要

## 産学連携によるグローバル人材育成推進会議 委員名簿

	市村泰男	社団法人日本貿易会常務理事
	伊藤元重	東京大学大学院経済学研究科教授
座長	河田悌一	日本私立学校振興・共済事業団理事長
	岸本治	ソニー株式会社グローバル人材開発部門部門長
	白石隆	政策研究大学院大学教授、内閣府総合科学技術会議議員
	土居丈朗	慶應義塾大学経済学部教授
	新浪剛史	株式会社ローソン代表取締役社長
	谷内正太郎	東京電力株式会社顧問
	涌井洋治	日本たばこ産業株式会社取締役会長